

発表番号	発表者名	所属	発表タイトル
P1	石井 敬直	東京大学	中間測定を活用した開放量子多体系のNISQシミュレーション
P2	伊藤琢磨	京都大学	フェルミの黄金律に基づくポテンシャル面の非調和性を考慮した非断熱遷移速度定数の理論計算
P3	瓜生 健心	大阪大学	ダイヤモンド量子センサを用いた低温高圧力下磁場イメージング手法の開発
P4	太田 怜英	東京大学	ダイヤモンド量子センサを用いた NbN 量子渦の動きの観測
P5	小柳津 敦	東京大学	Chaotic RG flows in non-unitary quantum dynamics
P6	加藤信彦	DIC株式会社	Quditベース量子シミュレーションによるアップコンバージョン材料の励起エネルギー移動ダイナミクス解析
P7	河本悠汰	大阪大学	ダイヤモンドを用いた超高圧力下での量子現象の開拓
P8	古門勇也	神戸大学	ポリスチレンマトリックス中の励起子-ラジカル連結系における室温スピン量子コヒーレンス: 分子運動の効果
P9	紺野裕生	筑波大学	量子コンピューターによる時間発展計算のqubit数比較
P10			キャンセル
P11	澤田侑大	東京大学	高感度MRIの実現に向けた生体内駆動型超核偏極材料の開発
P12	柴崎大輝	東京大学	高精度磁場イメージングのための狭線幅ダイヤモンド量子センサーの特性評価
P13	白水 翔也	岐阜大学	Clinical application of hyperpolarized MRI via photo-CIDNP
P14	杉浦周磨	東京大学	浮揚ナノ粒子のフィードバック冷却法
P15	須田涼太郎	東京大学	ダイヤモンドNV ⁻ 中心における励起三重項ゼロ磁場分裂の圧力応答測定の試み
P16	多田利輝	東京大学	¹⁹ F-photo-CIDNPによる超微細相互作用を制御した超高感度NMRの実現
P17	田中雅大	神戸大学	時間分解EPR法を用いた分子内一重項励起子分裂の機構解析
P18	田中秀俊	神戸大学	励起一重項-三重項エネルギー差の符号が与える熱活性化遅延蛍光と電子スピンドイナミクスの効果
P19	寺山晃平	神戸大学	三重項-三重項消滅アップコンバージョンに伴う超核偏極
P20	富弥大暉	神戸大学	時間分解EPR法による α シヌクレイン中の励起子回転運動の解析
P21	中西優馬	東京大学	臨界例外点に起因する集団スピン系の量子もつれの特異性
P22	中川 大也	東京大学	量子フィードバック制御のトポロジー
P23	中村祐貴	東京大学	六方晶窒化ホウ素中のホウ素欠陥を用いた動的核分極
P24	中本大河	東京大学	光共振器と結合した一次元拡張Hubbard模型の理論的研究
P25	西村 俊亮	東京大学	銅酸化物超伝導体の電流に誘起された 量子渦状態の可視化
P26	長谷川亮太	東京大学	ダイヤモンド量子センサを用いた二次元ファンデルワールス物質CrI ₃ の測定
P27	原 佳範	東京大学	Stability Analysis of Quantum Spin Glasses
P28	法橋顕広	東京大学	Rigorous Test for Quantum Integrability and Nonintegrability
P29	御代川克輝	東京大学	ホスト結晶中における色素分子の三重項電子スピン緩和時定数の理論予測
P30	持田隼	東京大学	共振器量子電磁力学を用いた2次元近藤格子模型の量子相転移制御
P31	山本悠稀	京都大学	多参照電子状態理論を用いた遷移金属錯体の光誘起スピン偏極機構の解明
P32	山本航輝	東京大学	ダイヤモンド量子センサを用いた高圧力下での鉄の磁気相転移の観測
P33	横溝和樹	東京大学	自由ボゾン系における測定誘起相転移